

# おぢかこうみんなんだより

第227号 令和7年6月2日発行

## ☆よりみち塾スタート！！

4月28日(月)から今年度のよりみち塾がスタートしました！  
5月1日(木)には「かけこの日」で、昨年に続き小値賀町出身の 瀬戸 裕子 さんを講師としてお招きし、走る前に足をほぐしたり、足の指先を動かしたりすることが大切なんだよ。と走り方を子ども達にレクチャーしていただきました。子ども達も熱心に教わったり、教わったとおりに体を動かしてみたりと、とても楽しそうに参加していました。そうする不思議といつもより早く走れる！とにぎやかでし  
子ども達に走る楽しさを教えてくださった 瀬戸先生、ありがとうございました。



よりみち塾では他にも、こんなことを行っています！



おりがみの日



卓球してピース！！



アドバイザーと一緒に学習

お知らせ



よりみち塾ではアドバイザーになっていただける方を随時募集しています。アドバイザーに興味がある方、アドバイザーになっていただける方のご連絡をお待ちしております！  
連絡先: 56-3838 小値賀町教育委員会 担当 平岡

公民館より

### 子育て講演会

ほめ方・しかり方アドバイザーの吉永里枝先生をお招きし、「子どもの心を育てる、ほめ言葉・しかり方」というテーマで先生のの実体験されてきた子育てについての話も交えながらの講演となっています。  
子育て中の方や興味がある方は、ぜひこの機会に講演会の参加をお願いします。

日時: 令和7年6月8日(日)  
午前10時～11時30分  
場所: 社会福祉協議会 1階多目的ホール  
参加申込: 不要  
参加料: 無料

よりみち塾&山学校より

### つながる、ぬりえ展

6/12(木)～7/1(火)を「つながるぬりえ月間」として、よりみち塾で下絵を作成する期間を設けます。今回は山学校コラボ企画として、よりみち塾に登録していない子も参加できる日を期間中に2回実施しますよ！  
下絵が作成できたら大阪の高齢者施設に絵を送り、色を塗っていただく予定となっています。完成した絵は、10月に開催するピース文化祭の会場で展示する予定です。

山学校より

### 長崎南山中学校高等学校 グローバルサイエンス部と の科学教室開催！！

8/2(土)に長崎南山中学校高等学校グローバルサイエンス部の皆さんが、小値賀町に来てくださいます！  
せっかくの機会ですので、参加対象を子どもから一般まで拡大いたします。皆様お誘いあわせのうえ、是非ご参加ください！  
内容については、現在検討中ですので決定次第お知らせいたします。

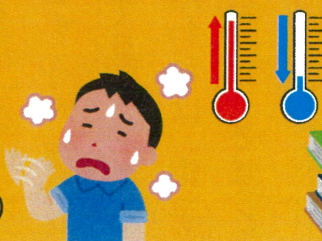
## ～図書館からのご案内～

ほかほか と温かい本が 返却されています！

★暑い場所に、本を 放置しないでください！  
本が膨らんで変形してしまいます。

- ◆車の中 (短時間でも 膨らんで 変形 します)
- ◆家の中 (窓際 や 縁側 など 陽が当たる場所)

一度変形した本は、元には戻りません。大切に扱ってください。



### 新しく入った本

※購入本の一部をご紹介します！

#### 【一般書】

- ◆世界は利権で動いている [島田 洋一]
- ◆姿勢のゆがみ図鑑 日常動作のヤバイクセがイラストでわかる [柴 雅仁]
- ◆海釣り仕掛け完全検索 52魚種・130パターン 堤防・サーフ・磯・ゴロタ場・河口の魚を網羅
- ◆るるぶ ユニバーサル・スタジオ・ジャパン 公式ガイドブック
- ◆その手があつたか！ワンオベゆんの子どもが食いつく魔法のレシピ [佐伯 泰英]
- ◆助太刀稼業 ① ② ③ [宮本 輝]
- ◆潮音 (CHO-ON) ② ③ ④ [佐藤 愛子]
- ◆百一歳。終着駅のその先へ

## 遊遊句抄

5月【兼題】 更衣 (ころもがえ) 筍 (たけのこ) 自由題

|                |   |
|----------------|---|
| 遠来の友竹の子ら背負きたる  | 松 |
| 玄関に鯛泳ぎ来る立夏かな   | 月 |
| 絵硝子に信徒をつつむ聖五月  | 香 |
| 目をつむり言の葉さがす夏霞  | 松 |
| 地蔵菩薩姿現す寺薄暑     | 紫 |
| 三十年経て揚げて見る鯉のぼり | 紅 |
| 柔らかき布地はウエスへ更衣  | 虫 |
| あれやこれ袋いろいろ葉の日  | 砂 |
| 荒庭に芍薬確と紅を注し    | 男 |
| 新緑の影踏む径や風の息    | 値 |
| 句作りも一新したき更衣    | 賀 |
| 路地何処筍めしの句ひけり   | 助 |
| 旅人はすでに軽やか更衣    | 月 |
| 惜しげなくたかな入れて夕の飯 | 歩 |
| 更衣ときめかぬ衣断捨離へ   | 一 |
| 竹藪焼き竹の子美食魯山人   | 穂 |
| 更衣モモヒキぬいで又はいて  | 理 |
| 筍や木の王様と初に聞く    | 障 |
| 木の枝も田畑の土も更衣    | 百 |
| 筍煮義母の味付け七回忌    | 笑 |
|                | 増 |
|                | 円 |



「過去の学びを未来（これから）に」

高校三年 辻 悠希斗

「いらっしやいませー!」「ありがとうございました!」これは、私が思い描く一年後の自分です。私は、社会人としてのスキル、ビジネスマナーを身に付けるために、長崎高等技術専門校、通称「高技専」に進学します。そこでは、あることにチャレンジしたいと考えます。

それは、本土ならではの行事に参加し、高技専の訓練生をはじめとするたくさんの人と出会う中で、コミュニケーションを積極的にとり、交友関係を広げることです。このことは、多くの人にとって簡単に、当たり前に行えることかもしれませんが、私にとっては大きなチャレンジです。小値賀の小中高は島唯一の学校だったため、基本的にメンバーは一緒に、友達を作るにあたって努力は必要ありませんでした。かく言う私も、そのような努力の必要性を考えることすらありませんでした。

しかし、これからは、これまでとは違います。高技専で共に学ぶ人は、自分が顔も合わせたことのない全くの他人です。初めは、なかなか話しかけられないなど、友達を作ることには苦労すると思いますが、たくさんの人と会話を重ねて友達を作り、自分のコミュニケーション能力の向上のためにもチャレンジをしていきたいと思いました。一方、このように長崎に行ってから生活や私が頑張りたいことを考える中で、小値賀でもたくさんのことを学んだと気づきました。私は、小値賀で7年過ごしましたが、まず思い浮かぶのは、やはり学校での生活です。小中高高校生活を振り返って一番初めに思うのは人数の少なさ。そのため、行事一つにしても周囲の人々と協力しないと成功しません。そこでは仲間がいることへの感謝や大切さを学べました。

また、部活動や体育祭ではリーダーを務めました。人数が少なく大役を務めることもありました。「不安だな」「したくない!」など自分にとってストレスに感じることもありました。しかし、クラスメイトや先生方が「頑張ろう!」と励ましてくださったり、実際にご助言を頂いたりしました。助言を頂く中で、「もっと良いものにしていきたい!」と思い、困難を乗り越えてやり遂げることが出来ました。

そこでの経験によって、コミュニケーション能力の向上や、相手に応じた対応の仕方など、たくさんのことを学ぶことが出来ました。

一方で、小値賀の不便さも感じてきました。たとえば、遊ぶ場所が限られてくることや、自由に買い物ができないことなど。しかし、この不便さがあるからこそ、逆に将来への期待が高まったと考えます。もし、私が島外で生まれ育っていたら、チャレンジすることへの意欲がわかず、自分自身を成長させるハードルははるかに高かったことでしょう。

ここで後輩の皆さんに少し、アドバイスをします。私は、高校三年生の夏に今の進路を決めました。しかし、それはかなり遅い方です。私は小さいころから将来の夢がなく、高校三年生になって焦りを感じていました。周りのみんなは、卒業後の方向性がある程度決まっており、そこに向けて勉強を進めることが出来ましたが、夢がない私は、目標がなくモチベーションもなかったのです。そこで私は、もう一度自分の「好き」について考えてみることにしました。

私の趣味、「プロレス観戦」関係の仕事に就きたい。「ココ壱番屋」もいいかもなあ。思いついたところに企業見学へ行くなど、紆余曲折を経て進路を決めようとしたものの、それでも具体的な就職先を決めることが出来ませんでした。ただし、自分の進路について悩み、考えた時間が私に、前進する、チャレンジする力を与えてくれました。私は、就職に関して資格を取得できる高技専への進学を決めました。そこでは、社会人としてのスキルやビジネスマナーを学び、社会に貢献できるように日々の勉強に励みたいと考えています。

「夢は早いうちに見つけたほうが良い」とよく言われていますが、本当にその通りだと思います。しかし、焦ってはいけません。今この中にも、具体的に夢が見つかっている人と、私みたいに悩んでいる人がいるかと思えます。具体的な夢があれば、次の段階の「その夢を掴み取るためには何が必要か」を考えてください。また、今の段階で、夢がない人は、「自分がどんな人になりたいか最終的なイメージを持ち、そこからどんな職業が向いているか」を考えてみてください。例えば、私の場合、「みんなから信頼される人になりたい」という自分の目標とする人物像があります。そのためには、相手の意見を尊重することが大切だと分析を深めていきます。そして具体的な職業、たとえば、たくさんの人と会話し、そして相手の意見を聞くことが大切になる接客業に携われれば、相手の意見を尊重する姿勢を磨けて、自分が目指す人物像に近づくと考えました。こうして私は、会話を必要とする、接客業に就くことを決めました。このように、まず自分がどういう人になりたいかを見つけて、それが出来れば、それに関する職業や夢を見つけられると考えています。

私の体験が、これから進路決定をしていく皆さんの助けになれば幸いです。